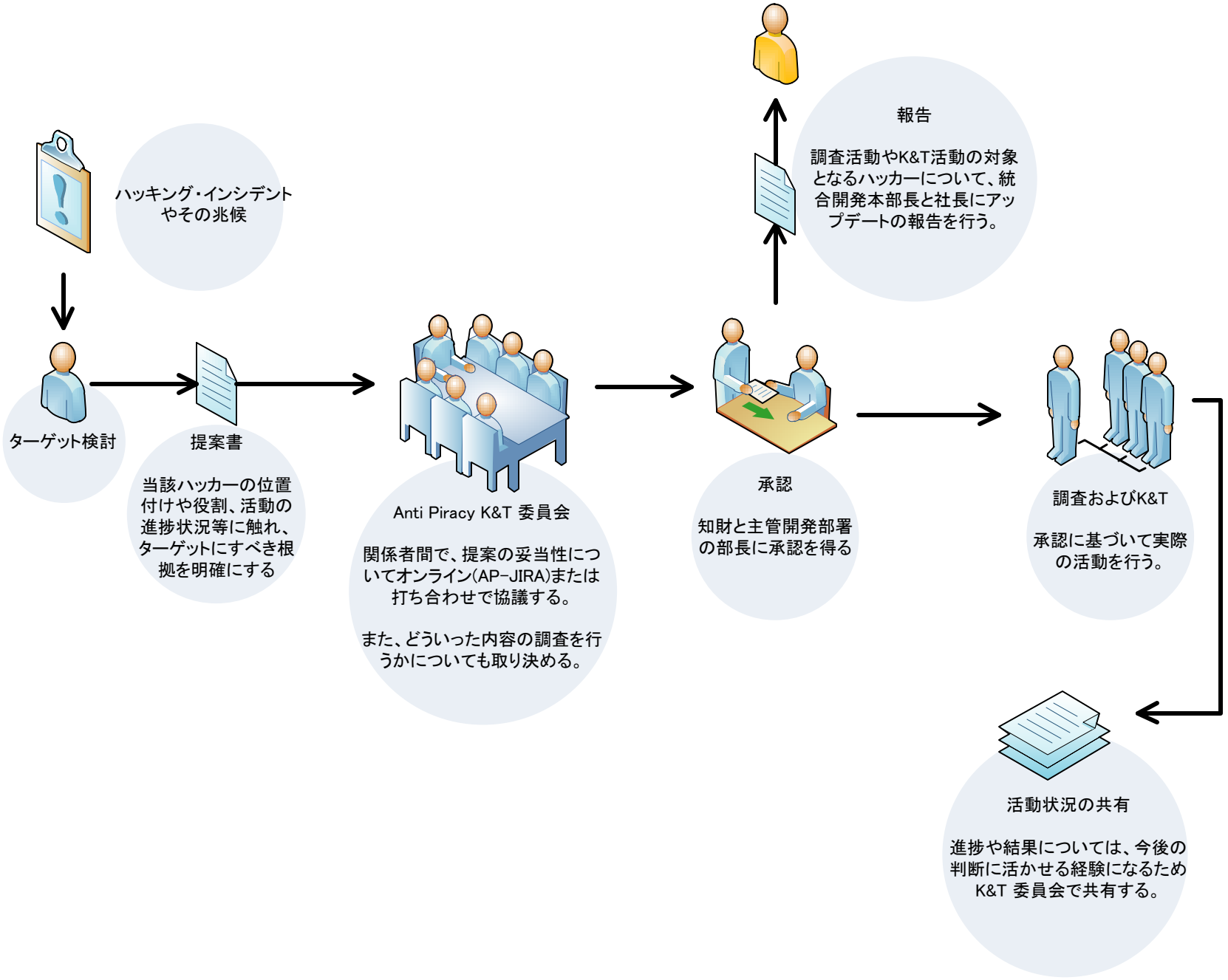
ハッキング・インシデント
やその兆候
ターゲット検討
提案書
当該ハッカーの位置付けや役割、活動の進捗状況等に触れ、ターゲットにすべき根拠を明確にする
Anti Piracy K&T 委員会
関係者間で、提案の妥当性についてオンライン(AP-JIRA)または打ち合わせで協議する。
また、どういった内容の調査を行うかについても取り決める。
承認
知財と主管開発部署の部長に承認を得る
報告
調査活動やK&T活動の対象となるハッカーについて、統合開発本部長と社長にアップデートの報告を行う。
調査およびK&T
承認に基づいて実際の活動を行う。
活動状況の共有
進捗や結果については、今後の判断に活かせる経験になるためK&T 委員会で共有する。